

筑北三村地域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

部会・プロジェクト名 第2回子ども部会	開催日:令和7年8月6日(水) 時間:10:00~12:30 場所:ちくほくシャインカレッジ eSportsルーム
参加者・構成機関名(14名参加:部会構成員6名、学校3名、保育園他5名) 麻績村教育委員会(部会長榎本) 生坂村教育委員会子ども子育て支援係(大塚) 筑北村子育て支援センター(太田) 筑北村教育委員会教育支援室(神谷) ちくほくシャインカレッジ(升田) 事務局(藤澤)	
次第 1.学習会「明日の地域を支える子どもの健全な成長・自立を願って」 2.学習会ふりかえりと今後の部会活動について	
次回予定 12月24日(水)10:00~ 場所:ちくほくシャインカレッジ	

会議内容

1. 学習会

「明日の地域を支える子どもの健全な成長・自立を願って」

講師 神谷哲彦氏(筑北村教育委員会教育支援室長)

①榎本部会長挨拶

協議会が発足し2年になる。自立支援協議会として福祉の視点での話し合いになるが、子ども部会では教育と福祉、医療との連携、共通理解が課題として話し合われてきている。学習会が子どもを対象とした支援の役割の共通理解にそれぞれの職種でヒントになればと思う。

②学習会 神谷哲彦氏(終了後に資料配布)

・自己紹介

中学校5校、特別支援学校、行政、大学、福祉と色々な分野での経験がある。学校は良かれと思いい子どもをいじり壊していることがあることを学校に居た立場として感じている。その結果として今日の学習会の内容になっている。

世界で日本の自殺率は高い。その中でも長野県はトップクラスの自殺者数が多いということを考えて欲しい。母子保健は根っこをつくる大切な時期。最後の一滴は大人になってからだが、最初の一滴滴は母子保健から始まる。同じ一滴なら早い方がよい。

フィンランドの内地留学を日本から40名程度の中の一人名として参加した。フィンランドで話されている事は日本と変わらないが、大きな違いは「やる」と言ったことをやる。若年妊娠にも担当をつけて進学までサポートをしていく。心がこもっているかないかの差は大きい。

・学習会感想と教育と福祉の連携に関するアンケート実施 回収12人

2. 学習会ふりかえりと今後の部会活動について

学習会終了後、神谷氏、升田氏、事務局藤澤で話し合い。